

令和 7 年度 事業 について

○ 南予南部共創型交通アクセス向上に関する事業（13,651 千円）

予土線沿線を含む南予南部地域において、医療、教育、福祉などの関係機関における移動ニーズもふまえながら、新たな交通体系を当該機関等とともに「共創」し、地域自らがデザインする地域公共交通の実現を図る。

（１）南予南部交通アクセス向上検討会の開催

国、市町、交通事業者だけでなく、医療、福祉、教育、観光といった多様な分野の機関・団体も参画する検討会を開催し、利用者目線で地域公共交通のアクセス向上を検証する。

（２）予土線・宇和島自動車路線バスにおけるモーダルミックスの実証実験

宇和島駅～松丸駅間を有効区間とするＪＲの定期券、乗車券類及び路線バスの定期券で、鉄道及びバスの相互利用を可能とするモーダルミックス実証実験をＲ６年度事業から拡充して行うことで、公共交通の利便性向上を検証する。

令和 7 年 7 月 1 日から開始しており、令和 8 年 2 月 28 日まで実証実験予定。

（３）電動シェアモビリティサービス導入の実証実験

南予南部の鉄道やバスの交通結節点等に、電動キックボード「ＬＵＵＰ」の貸出ポートを設置し、公共交通から観光地等までの二次交通を補完する実証実験を行い、予土線を含めた地域公共交通の利用促進策としての可能性を検証する。

令和 7 年 8 月 1 日から 11 月 30 日までの期間で、以下の貸出ポート・台数により実証実験予定。

J R 宇和島駅前	5 台	宇和島市観光情報センターシロシタ	5 台
J R 松丸駅前	4 台	コワーキングスペース warmth 前	4 台
南レク御荘公園内 Umidas 横	4 台		

（４）予土線 W i - F i 設置の実証実験

J R 予土線の車内に W i - F i 環境を整え、乗客の利用状況やアンケートによる利便性向上度を検証する。

令和 7 年 9 月から 11 月までの期間で実証実験予定。

その他の地域公共交通に関する令和7年度県予算の概要

新モビリティサービス導入促進事業費【新規】（予算額 20,588 千円）

地域公共交通を確保・充実し、その利便性・効率化を図るため、交通 DX や新たなモビリティサービス導入に関する市町の取組みに対して補助する。

- 1 対象者 市町
- 2 対象事業 ア 市町が実施する新モビリティサービス導入に関する事業
イ 市町が事業者に対して実施する、新モビリティサービスに関する事業

新モビリティサービスとは、AI オンデマンド交通、自動運転バス、空飛ぶクルマ、物流ドローン等の新たなモビリティサービスの総称

- 3 補助率 県 1/2（上限 5,000 千円）

生活バス路線確保対策事業費（予算額 325,020 千円、うち南予 157,970 千円）

生活バス路線のうち、広域的・幹線的路線の維持経費に対して国と協調して助成するとともに、市町が行う準広域的・幹線的路線の維持や廃止路線代替バスの運行等に対して助成する。

- 1 バス運行対策費補助金
 - (1) 補助対象者 路線バス事業者
 - (2) 補助対象経費 運行費の経常費用と経常収益との差額、車両の減価償却費等
 - (3) 負担区分 県 1/2 (国 1/2)
- 2 生活交通バス路線維持・確保対策事業費補助金
 - (1) 補助対象者 市町
 - (2) 補助対象経費 運行費の経常費用と経常収益との差額
車両の減価償却費等及び車両購入費
 - (3) 補助率 ①路線バス 県 1/2 ②廃止路線代替バス 県 1/3

離島航路整備事業費（予算額 477,684 千円、うち南予 142,502 千円）

離島航路の維持確保を図るため、離島航路の欠損額に対して補助する。

- 1 補助対象期間 令和5年10月1日～令和6年9月30日
- 2 補助対象者
 - (1) 公営航路 運営している市町
 - (2) 民営航路 欠損補助を行った市町
- 3 補助対象経費
 - (1) 公営航路 実績欠損額から国の補助対象欠損額を差し引いた額
 - (2) 民営航路 同上の額について市町が補助した額
- 4 補助率 県 1/2 以内

J R 予土線利用促進事業費 (予算額 2,151 千円)

地元市町等及び愛媛県・高知県で組織する予土線利用促進対策協議会が、生活利用と観光利用の両面から予土線の利用促進を図る。

1 協議会

(1) 設立 令和 5 年 10 月 ※愛媛、高知両県の協議会が合併

(2) 構成 宇和島市、松野町、鬼北町、宇和島商工会議所、吉田三間商工会、松野町商工会、鬼北町商工会、愛媛県
四万十市、四万十町、四万十市西土佐商工会、四万十町商工会、高知県

2 協議会の事業

利用促進イベントの実施、企画列車の運行 など

予土線駅前賑わい創出事業（南予） (予算額 2,230 千円)

人口減少が著しい予土線沿線地域において、主要 3 駅（伊予宮野下駅・近永駅・松丸駅）で駅前マルシェを定期開催し、新たな賑わいを創出するとともに、当地域の交流人口の拡大を図る。

1 駅前マルシェの開催

各駅持回りで定期的に行う開催

2 イベント PR 支援

松山圏域からの誘客に向けた PR など